

朝鮮総督府・台湾総督府の高級官僚の異動動態について 報告要旨

著者	岡本 真希子
雑誌名	日本の朝鮮・台湾支配と植民地官僚
巻	30
ページ	29
発行年	2008-01-31
その他のタイトル	Chosen sotokefu/taiwan sotokefu no koukyu kanryo no idou doutai ni tsuite hokoku yoshi
URL	http://doi.org/10.15055/00002583

朝鮮総督府・台湾総督府の高級官僚の 異動動態について

岡本 真希子
早稲田大学

報告要旨

本報告では、朝鮮総督府・台湾総督府の高級官僚の異動動態について検討する。これまでの植民地官僚の異動に関する研究においては、総督や総務長官・政務総監などの最高首脳部との人脈や派閥のなかで説明されるきらいが多く、とりわけ近年では人間関係や「人的ネットワーク」に着目し分析する手法がとられつつある。しかし、本報告においては、まず、異動を可能とする制度に着目する。すなわち、検討課題の第一として、官僚の任用・俸給制度を概観する。人事異動問題を人脈・政治力学だけでなく、制度・規則の枠内で実行される側面を見てゆくことで、植民地社会にとっての資格・学歴・規律といった官僚制度が刻印した問題にも接近できると考えるからである。また、検討課題の第二として、局長・課長レベルの人事異動のデータを例示して、人事異動の動態を検討する。その際には官吏が朝鮮・台湾に赴任した時期、学歴・資格に着目することで、本国政治との連動性や、資格任用制度と植民地官僚制度との相関関係を見てゆく。